



































チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・会社のホームページにて経営方針を外部に公表している。 ・「確かな技術で信頼される仕事を！」を社是とし、日々精進している。 ・自社の経営方針や目標を社内に開示し、朝礼時には行動指針の唱和を行い社内でも共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・毎日の朝礼で法令遵守の徹底・浸透に取り組んでいる。 ・社内規定のもと社会保険労務士との連携により法令遵守に取り組み、社員へ声掛けを行っている。															16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引業者との契約について、契約書による文書により関係を築いており不正な競争行為に関与していない。 ・2025年12月より施工予定の建設業法等改正に伴い県内の同業者へ説明会を主となって行っている。										10					16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自らの企業活動が及ぼす社会、環境への影響を把握し社員に共有している。 ・現場ごとに担当者を任命しており、KY活動をもとに組織体制の整備を行っている。															16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・施工物件などに関するデータ保護をしている。 ・1級鉄筋施工技能士や登録鉄筋基幹技能士などの資格をもつ技能者が多数在籍し、これまでの培った技術や経験が会社の知的財産になるため、ノウハウを次の世代に伝授している。 ・例えばパソコンでの加工帳の作成から始まり、現場においては効率的な作業方法や問題に対処する解決能力などを実践して経験を知識や経験を培っている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・社内ルールの確立や従業員の意識の向上により、個人情報漏洩防止を徹底している。 ・シュレッダーの活用により、個人情報が社内から洩れないように取り組んでいる。															16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事施工前より元請や関係業者との定期的な打ち合わせや会合を行い、コミュニケーションに努め、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・元請主催で行われるミーティングに参加し、取引先と連携して情報共有をしながら課題を認識し解決策の検証に取り組んでいる。また熊本鉄筋組合との連携も行っている。 ・協力会社の総会において意見交換を行い、課題があればその都度解決をしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・2024年度に3代目となる社長職交代人事を行い、持続可能な経営体制を構築している。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・性別や障害・国籍・宗教などによる、職場環境において差別や人権侵害がない体制を徹底している。 ・技能実習生が多数在籍しているので管理団体と共に講習会を行い、差別や苛めが無いよう指導を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月に1回、協力業者と作業所の安全パトロールを行っている。 ・労働安全コンサルタントの方が工場視察を行い安全で衛生的な職場環境への指導をして頂いている。 ・社内では、熱中症対策として空調服の支給と、業務用製氷機を工場に設け現場や工場へ氷の供給を行うことにより、働きやすい環境整備を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った社内の規定により、雇用形態に関わらない従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇の取得や労働時間の見直しを行い、休日を増やすことで、従業員が仕事とプライベートの時間を両立しやすくなるように取り組んでいる。 ・子どもの行事などには積極的に参加を推奨している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・特別教育や資格試験の情報を共有し、必要な費用は会社負担で能力開発や教育訓練、資格取得に取り組んでいる。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎朝朝礼時にラジオ体操を行い、身体をほぐしてから作業に取り組まかっている。 ・毎年、健康診断やインフルエンザ予防接種を経費負担で実施し、社員全員が健康維持に心掛け、業務の生産性向上につなげている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性技能者の採用や育成を行っている。 ・外国人技能実習生の受け入れを行い、人種・国籍・性別・年齢を問わずに人材が活躍できる環境づくりに取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。		●	・感染症対策として社内の換気、アルコール消毒の設置を行っている。 ・感染症が蔓延防止期間中は在宅ワークを実施している。 ・コロナが5類感染症になりマスクの着用の義務が無くなり、各自の判断での着用を認めている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・現場や工場から出た残材や廃棄物は、分別を行い産業廃棄物処理業者により適切な管理や処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気管理技術者の点検により測定記録表を保管しており、毎月会社で電力やエネルギー使用量を把握しながら過去3年分のデータと比較し、省エネを徹底している。また、太陽光発電システムを導入している。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・温室効果ガスを減らすために、スマートクロックを使用し毎月の電気使用量を把握している。目標値をオーバーしそうな時は時計の色や音で警告するなど、目に見えない電気を「見える化」することでの意識向上を図り、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・ペットボトルのキャップを回収事業者団体に提供するため集めている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・データをクラウドで管理し、コピー用紙の削減(ペーパーレス化)に取り組んでいる。 ・再生紙やレジ袋、紙袋の再利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・汚水の適切な処理と節水を心掛け呼び掛けている。 ・手を洗うときは水の出しっぱなしをしないなど、できることから少しずつ行っている。また、水回りに熊本県から配布されている節水ステッカーを貼っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙の利用を促進している。 ・パソコン及び周辺機器のリユース品購入により3Rの取り組みを促進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・事業所における会食時に3010運動を実施している。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・毎年グリーンカーテンを作り、夏場は剛日差しを遮るため壁面緑化に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・太陽光発電システムの導入により、自家消費を行うことでCO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・工場内の電球を、白熱電球からコストパフォーマンスに優れているLEDに換えている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・公私における場において、ごみ分別やエコバック活用の推奨に取り組んでいる。 ・ペットボトルのフタを回収事業者団体に提供するために集めている。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 中村鉄筋工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・鋼材入荷の際に品質を保証するためのメタルタグと納品書の管理を適切に行い管理しており、元請へ提出している。 ・鋼材メーカーの試験成績表(ミルシート)の確認を行い、製品の品質・材質の安全性や保障を確保している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・教育施設・医療福祉施設などユニバーサルデザインの施工に貢献している。 ・外国人実習生が多数在籍しているので、日本語表記だけでなく、通訳機能を使い、母国語で伝達を行っている。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・安全衛生協力会に参加している協力会社と共に、ごみ拾いを実施し社会貢献活動に取り組んでいる。 ・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう推奨している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所に災害時における緊急連絡網を作成し掲示している。 ・もしもに備えて、災害時に電話が通じない時のためにも連絡ツールとなるスマホのアプリを社員全員が取り入れ連絡できるようにしている。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社員が地域消防団に所属している。 ・現場にAEDを1台設置している。 ・防災のための河川改修工事や耐震補強工事に取り組んでいる。 ・防災意識を高め、地域社会にお役に立てよう災害時には建設機械の運用や施設を避難所として提供するようにしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1		16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・熊本地震の経験をもとに、災害に強い耐震・耐久性に強い建物を建築している。 ・鉄筋は完成後に外から見えることはないが、建物の寿命を左右する重要な施工だからこそ確かな技術で精励している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsは当社企業理念であることをボランティア活動や資源の分別回収活動などを通して社内で共有し、社員が誇れる仕事として意識向上に取り込んでいる。 ・HPIにSDGsの活動内容を掲示している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地元の工業高校よりインターンシップの受け入れを毎年行っている。 ・支援学校の就職につなげるために、2025年7月8日の学校説明会へ参加を予定している。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・高校生向けの就職ガイダンスの資料を写真や動画で作成したり、職業訓練生に実技の指導をしており、若者への地元での就職を促進する取り組みを行っている。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3